

MHAM6 資産バランスファンド

<愛称：六花選>

追加型投信／内外／資産複合

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、国内および海外の公社債、株式および不動産投資信託証券（不動産投信）への分散投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中・長期的な成長を目指して運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2020年5月13日～2020年11月12日

第85期	決算日：2020年7月13日	
第86期	決算日：2020年9月14日	
第87期	決算日：2020年11月12日	
第87期末 (2020年11月12日)	基準価額	9,777円
	純資産総額	4,338百万円
第85期～ 第87期	騰落率	9.1%
	分配金合計	90円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

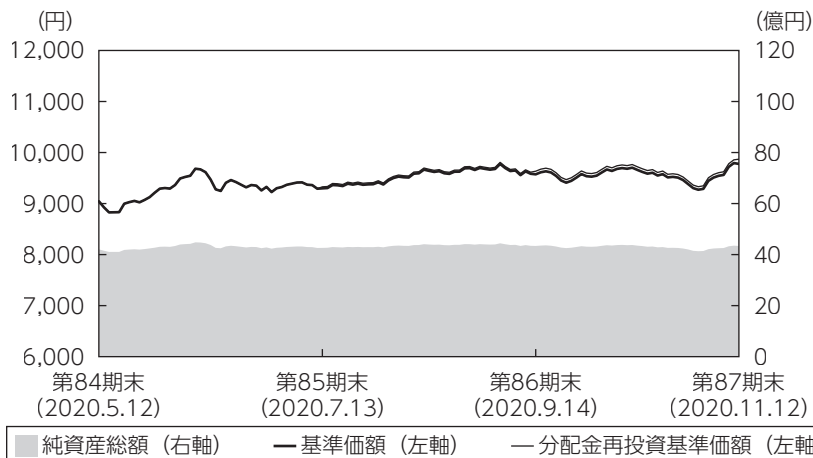
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

国内および海外の公社債、株式および不動産投資信託証券（REIT）へ、ほぼ基本配分比率に沿って投資した結果、国内外のREIT市場および株式市場を中心に上昇したことから基準価額は上昇しました。

[組入マザーファンドの当作成対象期間における騰落率]

組入マザーファンド	騰落率
MHAM好配当利回り株マザーファンド	13.9%
海外好配当株マザーファンド	22.6%
MHAM日本債券マザーファンド	△0.3%
MHAM海外債券マザーファンド	3.1%
MHAM J-REITマザーファンド	5.6%
MHAMグローバルREITマザーファンド	15.4%

1 万口当たりの費用明細

項目	第85期～第87期		項目の概要
	(2020年5月13日 ～2020年11月12日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	60円	0.637%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,464円です。
(投信会社)	(26)	(0.272)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(31)	(0.333)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(3)	(0.033)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	3	0.029	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(2)	(0.020)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.001)	
(投資証券)	(1)	(0.008)	
(c) 有価証券取引税	0	0.002	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.000)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)	
(投資証券)	(0)	(0.002)	
(d) その他費用	6	0.062	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(6)	(0.060)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	69	0.730	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

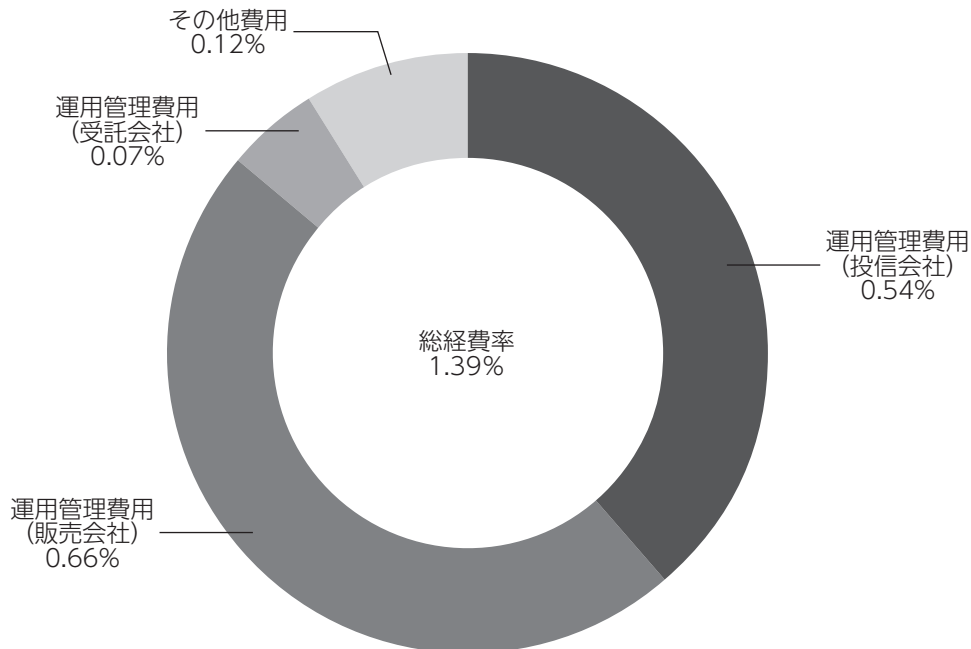
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.39%です。



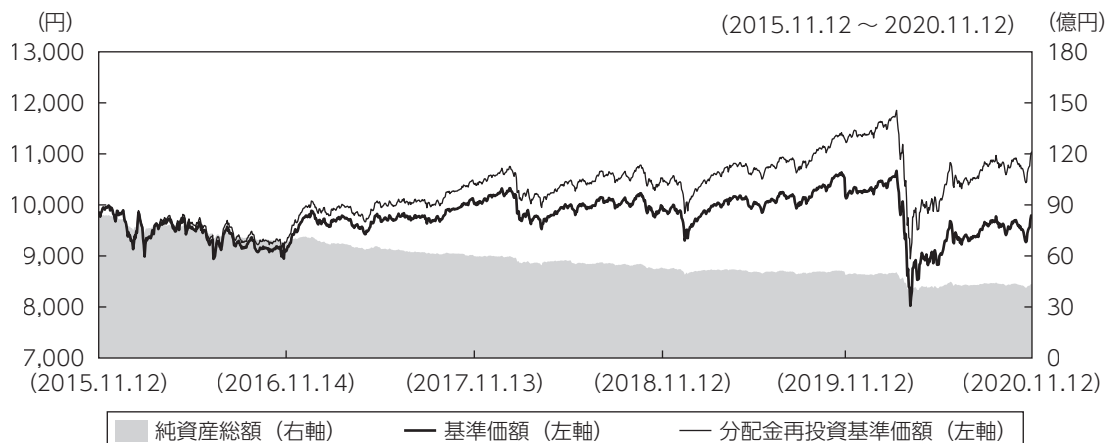
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2015年11月12日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2015年11月12日 期首	2016年11月14日 決算日	2017年11月13日 決算日	2018年11月12日 決算日	2019年11月12日 決算日	2020年11月12日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	9,856	9,092	10,019	9,959	10,171	9,777
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	180	180	180	480	180
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△6.0	12.2	1.2	7.0	△2.0
東証株価指数 (TOPIX) の騰落率 (%)	—	△12.1	27.4	△6.3	2.3	1.0
MSCI コクサイ指数 (為替ノーヘッジ・円ベース) の騰落率 (%)	—	△11.0	30.1	4.3	7.7	10.3
NOMURA-BPI 総合の騰落率 (%)	—	4.6	△0.8	△0.1	2.5	△0.6
FTSE 世界国債指数 (除く日本、為替ノーヘッジ・円ベース) の騰落率 (%)	—	△11.6	11.6	△2.2	3.5	5.7
東証REIT指数 (配当込み) の騰落率 (%)	—	3.5	△2.7	15.8	23.7	△15.8
S&P先進国REIT指数 (除く日本、トータルリターン、円ベース) の騰落率 (%)	—	△10.7	22.1	1.9	10.1	△12.0
純資産総額 (百万円)	8,372	6,809	5,979	5,300	4,893	4,338

- (注1) 当ファンドは、主として国内および海外の公社債、株式および不動産投資信託証券への分散投資を基本とし、各資産への投資配分は均等配分 (6分の1ずつ) を原則としていますが、当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。上記指数は当ファンドが組入れている親投資信託のベンチマークまたは参考指数ですが、投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しています。
- (注2) 上記指数については後掲の<組入マザーファンドのベンチマーク等について>をご参照ください。
- (注3) MSCI コクサイ指数 (為替ノーヘッジ・円ベース)、FTSE 世界国債指数 (除く日本、為替ノーヘッジ・円ベース) およびS&P先進国REIT指数 (除く日本、トータルリターン、円ベース) は、基準価額への反映を考慮して前営業日の値を用いています。

投資環境

●国内株式市況

国内株式市場は、東証株価指数（TOPIX）で見ると、上昇しました。作成期首から2020年6月上旬までは、各国の経済対策や金融政策を受け、堅調な展開となりました。その後2020年10月末までは、欧米の新型コロナウイルスの感染再拡大、米大統領選に対する不透明感などから、ボックス圏で推移しましたが、作成期末にかけて、米大統領選を通過したことで、上昇に転じました。

●海外株式市況

作成期首から、新型コロナウイルス感染拡大後の経済活動再開期待やワクチン開発期待などを受け、株式市場は上昇基調となりました。作成期末にかけては、各国地域における感染再拡大などが懸念され、伸び悩む展開となりました。

●国内公社債市況

国内債券市場は、NOMURA-BPI総合で見ると、0.5%下落しました。作成期首△0.005%で始まった新発10年国債利回りは、政府が新型コロナウイルス感染拡大による景気悪化に対応し、複数回の補正予算編成で財政支出を拡大させる中、大規模な国債増発への警戒感が強まったことで上昇した後、0%~0.050%程度のレンジで推移し、0.030%で作成期末を迎えました。

●海外公社債市況

米国10年国債利回りは、新型コロナウイルスの感染再拡大に伴う景気悪化懸念や米中対立の激化懸念などから低下した後、米国債の需給悪化懸念やワクチン開発進展期待などを背景に上昇し、前作成期末対比で上昇しました。ドイツ10年国債利回りは、新型コロナウイルス感染拡大に伴う景気悪化懸念から低下基調で推移した後、ワクチン開発進展期待から上昇し、前作成期末対比で概ね横ばいとなりました。

●国内不動産投信市況

国内REIT市場は、東証REIT指数（配当込み）で見ると上昇しました。期首から新型コロナウイルス関連の報道を受けて値動きの荒い展開となりましたが、5月下旬の緊急事態宣言解除などが好感され大幅に上昇しました。その後はオフィス市況の悪化などが嫌気され下落する場面があったものの10月上旬まで底堅く推移しました。しかし、大型公募増資の公表をきっかけに需給悪化懸念が台頭し軟調な展開となり、上げ幅を縮小して作成期末を迎えました。

●海外不動産投信市況

外国REIT市場は、S & P先進国REIT指数（除く日本、トータルリターン・円ベース）で17.6%上昇しました。作成期首は新型コロナウイルスの感染拡大防止によるロックダウン（都市封鎖）が徐々に解除され、経済活動の再開の期待から大きく上昇しました。6月には感染拡大の第2波により反落し、その後上値の重い展開となりました。作成期末にはバイデン氏の米大統領当確およびワクチン開発の進展などを好感して上昇しました。

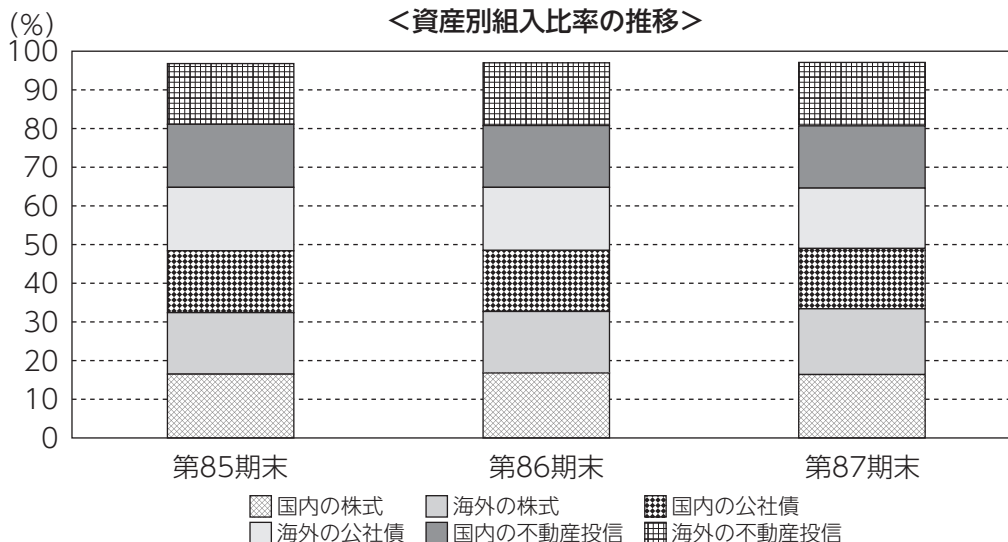
●為替市況

為替市場では、前作成期末対比で米ドルは対円で下落し、ユーロは対円で上昇しました。米ドルは、追加経済対策を巡る米与野党協議の難航や米国における新型コロナウイルスの感染再拡大に伴う景気の先行き不透明感などが下落要因となりました。ユーロは、欧州中央銀行（ECB）追加金融緩和策が域内景気を支えるとの見方が上昇要因となりました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

各マザーファンドへの投資配分は、均等配分を原則として16.6%±5%の範囲内となるよう調整し、組入比率の合計は高位を維持しました。また、各マザーファンドを通じて保有する外貨建資産に対して、為替ヘッジは行いませんでした。



(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、組入比率は実質組入比率を用いております。

●MHAM好配当利回り株マザーファンド

予想配当利回りが市場平均と比較して高いと判断した銘柄を中心に投資を行いました。銘柄の選定にあたっては業績動向、財務内容の健全性などに留意した上で、今後高水準かつ安定的な配当を予想する銘柄を中心に選別しました。この結果、東証33業種分類では、化学、電気機器、情報・通信業などの比率を高めて運用を行いました。

【組入上位業種】

2020年11月12日現在

順位	業種	比率
1	化学	14.1%
2	電気機器	10.6%
3	情報・通信業	10.5%
4	卸売業	10.5%
5	輸送用機器	7.8%

【組入上位銘柄】

2020年11月12日現在

順位	銘柄	比率
1	トヨタ自動車	5.1%
2	日本電信電話	4.3%
3	伊藤忠商事	4.2%
4	武田薬品工業	3.5%
5	KDDI	3.1%

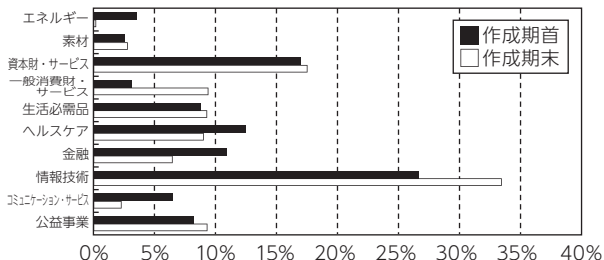
(注) 比率は、MHAM好配当利回り株マザーファンドの純資産総額に対する投資割合。

●海外好配当株マザーファンド

日本を除く世界の先進国の株式市場を主たる投資対象とし、相対的に配当利回りが高く、配当の安定性や成長性にも期待出来る銘柄を中心に投資を行いました。セクター別では、情報技術や資本財・サービスなどの比率を高めに維持しました。株式の組入比率は高位を維持しました。為替ヘッジは行いませんでした。

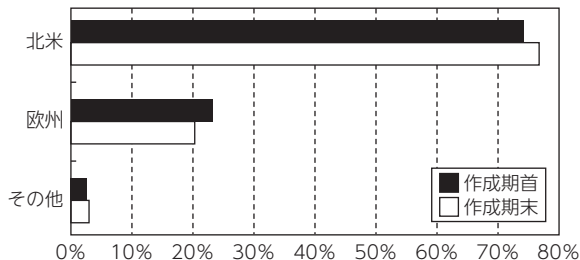
作成期首：2020年5月12日 作成期末：2020年11月12日

<業種別投資配分比率の推移>



(注) ファンドの投資配分比率については海外好配当株マザーファンドの株式部分を100%換算したものをを用いています。

<地域別投資配分比率の推移>



(注) ファンドの投資配分比率については海外好配当株マザーファンドの株式部分を100%換算したものをを用いています。

〔組入上位銘柄〕

作成期末			
順位	銘柄	国または地域・業種	比率
1	QUALCOMM INC	アメリカ/半導体・半導体製造装置	5.4%
2	TEXAS INSTRUMENTS INC	アメリカ/半導体・半導体製造装置	4.4%
3	APPLIED MATERIALS INC	アメリカ/半導体・半導体製造装置	4.1%
4	MICROSOFT CORP	アメリカ/ソフトウェア・サービス	3.8%
5	APPLE INC	アメリカ/テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.7%

(注1) 各比率は、海外好配当株マザーファンドの株式に対する投資割合。

(注2) 国または地域は法人登録国。

●MHAM日本債券マザーファンド

金利戦略は、金利上昇を見込み、修正デュレーション（金利感応度）をベンチマーク対比短期化とする戦略を継続しました。残存年限別構成戦略は、相対的に軟調に推移すると見込んだ超長期ゾーンをアンダーウェイトとする戦略を基本としました。種別構成戦略は、事業債のオーバーウェイトを維持しました。また、債券組入比率は高位を維持しました。

【組入上位銘柄】

2020年11月12日現在

順位	銘柄	利率	償還日	比率
1	136回 利付国庫債券 (5年)	0.1%	2023/6/20	8.5%
2	129回 利付国庫債券 (5年)	0.1%	2021/9/20	7.9%
3	355回 利付国庫債券 (10年)	0.1%	2029/6/20	7.3%
4	140回 利付国庫債券 (5年)	0.1%	2024/6/20	4.5%
5	150回 利付国庫債券 (20年)	1.4%	2034/9/20	3.9%

(注) 比率は、MHAM日本債券マザーファンドの国内債券合計に対する投資割合。

●MHAM海外債券マザーファンド

ポートフォリオ全体の修正デュレーションは期を通じてベンチマーク対比長めとしました。国別金利リスク配分は米国等でベンチマーク対比長めとしました。残存期間構成は米国で超長期ゾーンをアンダーウェイトとしましたが、期末前に中立としました。通貨別配分はポーランドズロチのオーバーウェイトを中心に、機動的にポジションを運営しました。債券組入比率は高位を維持しました。対円での為替ヘッジは行いませんでした。

【通貨別組入比率】

2020年11月12日現在

順位	通貨	比率
1	米ドル	41.8%
2	ユーロ	41.5%
3	英ポンド	7.5%
4	ポーランドズロチ	3.4%
5	オーストラリアドル	2.5%

(注) 比率は、MHAM海外債券マザーファンドの海外債券合計に対する投資割合。

【組入上位銘柄】

2020年11月12日現在

順位	銘柄	通貨	比率
1	US T N/B 2.25 11/15/27	米ドル	8.7%
2	US T N/B 2.875 05/15/28	米ドル	7.9%
3	SPAIN 1.95 04/30/26	ユーロ	5.1%
4	US T N/B 2.25 11/15/25	米ドル	4.7%
5	SPAIN 0.45 10/31/22	ユーロ	4.3%

●MHAM J-R E I Tマザーファンド

前回の運用報告書に記載した「今後の運用方針」に従い、分配金の維持向上が見込める銘柄などの投資ウェイトを引き上げる運用を行いました。具体的には賃貸収入の安定性を評価し「G L P 投資法人」などを追加購入しました。一方で、都心を中心に稼働率の低下などが懸念される「コンフォリア・レジデンシャル投資法人」などの一部売却を行いました。組入比率は高位を維持しました。

【組入上位銘柄】

2020年11月12日現在

順位	銘柄	比率
1	日本ビルファンド投資法人	6.8%
2	日本プロロジスリート投資法人	6.3%
3	ジャパンリアルエステイト投資法人	5.9%
4	G L P 投資法人	5.2%
5	日本リテールファンド投資法人	4.0%

(注) 比率は、MHAM J-R E I Tマザーファンドの純資産総額に対する投資割合。

●MHAMグローバルR E I Tマザーファンド

日本を除く世界各国のR E I Tを主要投資対象とし、安定した収益が見込まれる優良物件を保有し、財務内容が良いと判断される銘柄への投資を行いました。海外R E I Tの組入比率は、期を通じて高位に維持しました。なお、為替ヘッジは行いませんでした。期中については、サイモン・プロパティー・グループ（米国）などを買付けたほか、パブリック・ストレージ（米国）などの売却を実施しました。

【組入上位銘柄】

2020年11月12日現在

順位	銘柄	国	比率
1	PROLOGIS INC	アメリカ	8.7%
2	EQUINIX INC	アメリカ	7.0%
3	WELLTOWER INC	アメリカ	4.0%
4	GOODMAN GROUP	オーストラリア	3.4%
5	ALEXANDRIA REAL ESTATE EQUIT	アメリカ	3.3%

(注1) 個別銘柄の比率については、MHAMグローバルR E I Tマザーファンドの投資信託証券等の合計に対する投資割合。

(注2) 国名は発行国。

分配金

当作成期の収益分配金は、利子・配当収入相当分を中心に安定した収益分配を継続的に行うことを目指し、基準価額の水準や市況動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第85期	第86期	第87期
	2020年5月13日 ～2020年7月13日	2020年7月14日 ～2020年9月14日	2020年9月15日 ～2020年11月12日
当期分配金（税引前）	30円	30円	30円
対基準価額比率	0.32%	0.31%	0.31%
当期の収益	30円	30円	30円
当期の収益以外	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	664円	668円	685円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

各マザーファンドに対して基本配分比率である16.6%±5%の範囲内で投資を行い、組入比率の合計は高位を維持します。また、各マザーファンドを通じて保有する外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

●MHAM好配当利回り株マザーファンド

国内株式市場は、新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済へのマイナス影響には留意が必要と考えますが、各国の経済対策や金融政策に支えられ、底堅い展開を想定します。ポートフォリオは、予想配当利回りが市場平均と比較して高いと判断する銘柄群から、高水準かつ安定的な配当を見込む銘柄を中心に選別します。組入銘柄の入替えに関しては、予想配当利回りが低下した銘柄、減配リスクが顕在化すると判断する銘柄などを売却します。

●海外好配当株マザーファンド

株式市場は、新型コロナウイルスの感染拡大を背景とした景気の先行き不透明感もあり、上値の重い相場展開となる可能性があります。それに対し、各国の金融および財政政策が下支えしていく動きが続くと予想します。そのような環境下、今後の利益成長と配当支払い余力の持続性を勘案して投資銘柄を厳選し、中長期的に安定的な配当収入と株価値上がり益の確保を目指す方針です。

●MHAM日本債券マザーファンド

日銀による長短金利操作付き量的・質的金融緩和の効果が継続することで、金利は低位で推移すると見込みます。

金利戦略は、修正デュレーションを機動的に操作し、残存期間別構成戦略は、利回り曲線上で割安と判断する年限を厚めに保有します。種別構成・個別銘柄戦略は、信用力が安定的で、且つ利回り面で妙味があると判断される銘柄の組み入れを検討する方針です。

●MHAM海外債券マザーファンド

新型コロナウイルスの感染拡大の第3波から景気や物価動向には再度落ち込みが予想されますが、米国では大統領選挙後も政治的に混沌とした状況が続き、追加経済対策に関する早期進展は困難と見込みます。財政面での支援が不足する中、米国でも他の先進国中銀と同様に今後は追加緩和姿勢を示さざるを得なくなると予想され、先進国金利は低位での推移を見込みます。債券組入比率は高位を維持します。為替ヘッジは行わない方針です。

●MHAM J-R E I Tマザーファンド

国内REIT市場は、新型コロナウイルス関連の報道や内外の政治経済動向などから、値動きの荒い展開が続くと想定します。欧州での新型コロナウイルス感染再拡大を受け、各種経済指標の悪化懸念などが上値を抑える可能性があるものの、各種政策に対する期待などが支えとなり、徐々に下値を切り上げる展開を想定します。銘柄選択、ポートフォリオ構築に際し、保有資産の質や運用能力の調査・分析結果をベースに、安定した分配金原資の獲得を考慮して実施していきます。

●MHAMグローバルREITマザーファンド

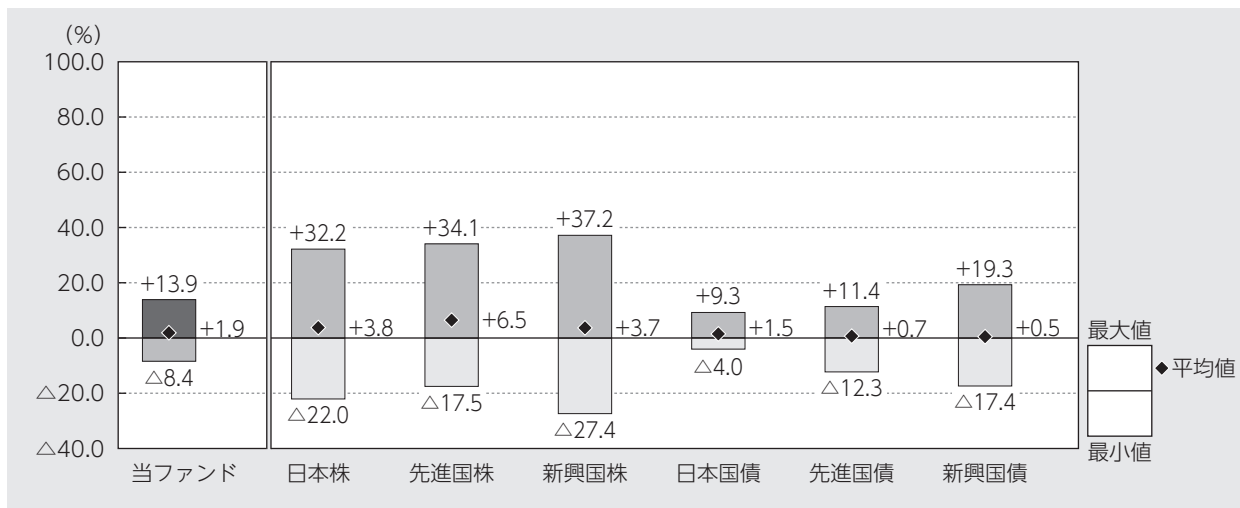
各国の中央銀行が金融緩和姿勢を強める中で経済活動が徐々に再開されれば、REIT市場に再び注目が集まると見えています。小売業は引き続き厳しい状況が続くと予想されるので注視していく必要がある一方、オンラインショッピングやデータ通信量の増大の恩恵を受ける物流施設やデータセンターに注目しています。当ファンドにおいては、安定した収益が見込まれる優良物件を保有し、財務内容が良いと判断される銘柄への投資を行っていく方針です。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2006年6月12日から無期限です。	
運用方針	主として国内および海外の公社債、株式および不動産投資信託証券へ分散投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中・長期的な成長を目指します。	
主要投資対象	MHAM6 資産 バランスファンド	MHAM好配当利回り株マザーファンド受益証券、海外好配当株マザーファンド受益証券、MHAM日本債券マザーファンド受益証券、MHAM海外債券マザーファンド受益証券、MHAM J-REITマザーファンド受益証券およびMHAMグローバルREITマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	MHAM好配当利回り株 マザーファンド	わが国の金融商品取引所に上場されている株式を主要投資対象とします。
	海外好配当株 マザーファンド	海外企業の株式において利益の安定成長が見込まれ、かつ高い配当利回りが期待できる銘柄を主要投資対象とします。
	MHAM日本債券 マザーファンド	わが国の公社債を主要投資対象とします。
	MHAM海外債券 マザーファンド	日本を除く世界主要先進国の公社債を主要投資対象とします。
	MHAM J-REIT マザーファンド	わが国の金融商品取引所および金融商品取引所に準ずる市場に上場している不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
	MHAMグローバル REITマザーファンド	日本を除く世界各国の外国金融商品市場および外国金融商品市場に準ずる市場に上場している不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	各資産への投資配分は、均等配分（6分の1ずつ）を原則とします。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 MHAMグローバルREITマザーファンドにおける円の余資運用以外の運用の指図に関する権限を、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドに委託します。	
分配方針	第2期以降、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。以下同じ。）等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は、原則として利子・配当収入相当分を中心に安定した収益分配を継続的に行うことを目指し、委託会社が基準価額の水準や市況動向等を勘案して決定します。 なお、売買益については、毎年5月および11月の決算時に委託会社が基準価額の水準ならびに分配対象額等を勘案したうえで、分配することを目指します。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用しています。（ファミリーファンド方式とは、投資者の皆さまからお預かりした資金をまとめてペビ－ファンドとし、その資金をマザーファンドに投資することにより、その実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。）

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2015年11月～2020年10月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容 (2020年11月12日現在)

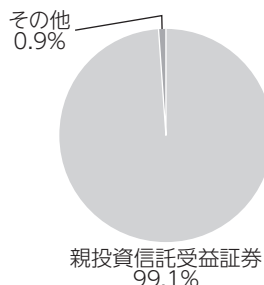
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：6ファンド)

	第87期末
	2020年11月12日
MHAM好配当利回り株マザーファンド	16.8%
海外好配当株マザーファンド	17.3
MHAM日本債券マザーファンド	15.8
MHAM海外債券マザーファンド	15.9
MHAM J-R E I Tマザーファンド	16.4
MHAMグローバルR E I Tマザーファンド	16.9
その他	0.9

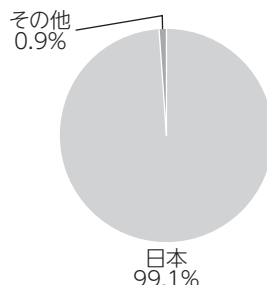
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

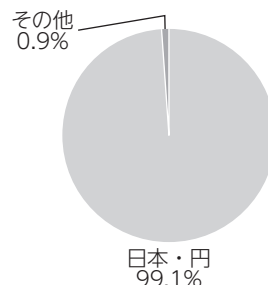
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

純資産等

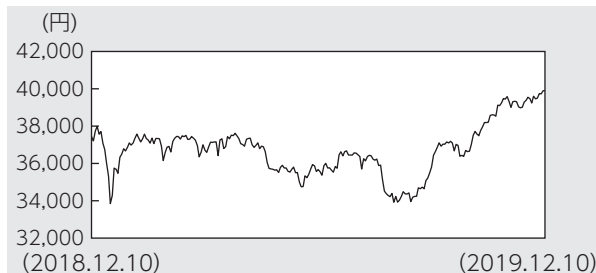
項目	第85期末	第86期末	第87期末
	2020年7月13日	2020年9月14日	2020年11月12日
純資産総額	4,263,088,453円	4,338,892,352円	4,338,286,369円
受益権総口数	4,584,790,011口	4,532,256,552口	4,437,060,117口
1万口当たり基準価額	9,298円	9,573円	9,777円

(注) 当作成期間 (第85期～第87期) 中における追加設定元本額は33,049,404円、同解約元本額は243,309,016円です。

組入ファンドの概要

【MHAM好配当利回り株マザーファンド】（計算期間 2018年12月11日～2019年12月10日）

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

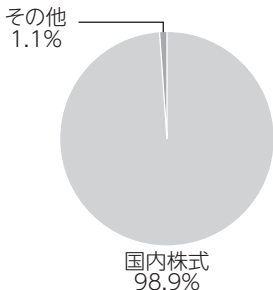
銘柄名	通貨	比率
トヨタ自動車	日本・円	4.6%
KDDI	日本・円	4.3
日本電信電話	日本・円	4.1
伊藤忠商事	日本・円	3.7
トレンドマイクロ	日本・円	3.4
三井物産	日本・円	3.3
東京海上ホールディングス	日本・円	3.2
三菱商事	日本・円	3.2
武田薬品工業	日本・円	2.9
三菱電機	日本・円	2.7
組入銘柄数		76銘柄

◆1万口当たりの費用明細

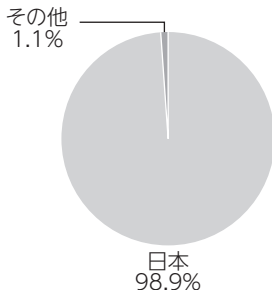
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	35円 (35)	0.095% (0.095)
(b) その他費用 (その他)	0 (0)	0.000 (0.000)
合計	35	0.095

期中の平均基準価額は、36,729円です。

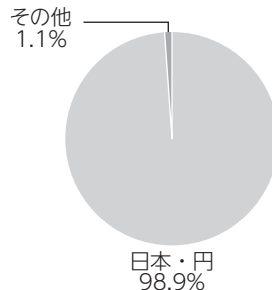
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

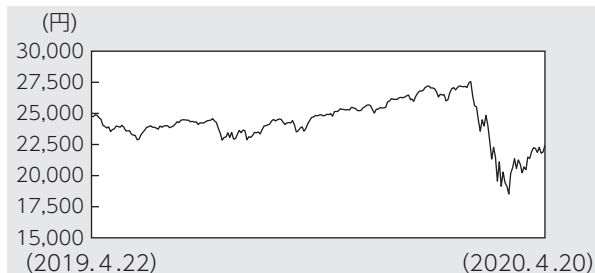
(注5) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

(注6) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

[海外好配当株マザーファンド] (計算期間 2019年4月23日～2020年4月20日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

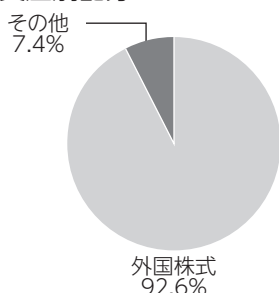
銘柄名	通貨	比率
ABBOTT LABORATORIES	アメリカ・ドル	2.5%
APPLE INC	アメリカ・ドル	2.5%
APPLIED MATERIALS INC	アメリカ・ドル	2.5%
LOCKHEED MARTIN CORP	アメリカ・ドル	2.3%
ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	スイス・フラン	2.3%
QUALCOMM INC	アメリカ・ドル	2.3%
EATON CORP PLC	アメリカ・ドル	2.3%
MERCK & CO.INC.	アメリカ・ドル	2.3%
NEXTERA ENERGY INC	アメリカ・ドル	2.3%
DEUTSCHE POST AG-REG	ユーロ	2.2%
組入銘柄数		57銘柄

◆1万口当たりの費用明細

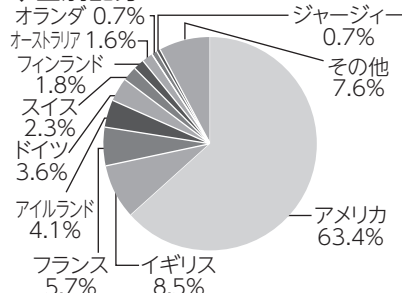
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	23円 (23)	0.096% (0.096)
(b) 有価証券取引税 (株式)	3 (3)	0.014 (0.014)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	△4 (24) (△28)	△0.016 (0.099) (△0.115)
合計	23	0.094

期中の平均基準価額は24,316円です。

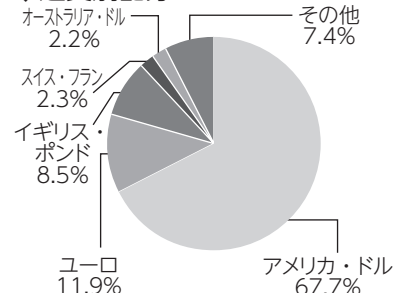
◆資産別配分



◆国別配分



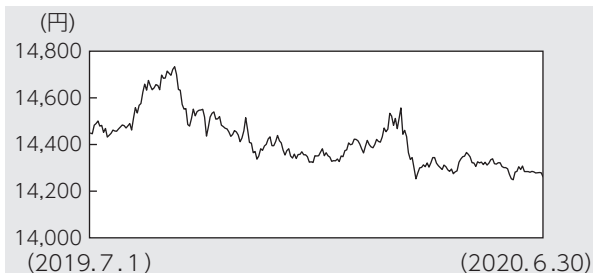
◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。
- (注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
- (注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注5) 国別配分につきましては発行国(地域)で表示しております。
- (注6) 国別配分については、上位11位以下をその他に含めて集計しています。
- (注7) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。
- (注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

[MHAM日本債券マザーファンド] (計算期間 2019年7月2日～2020年6月30日)

◆基準価額の推移



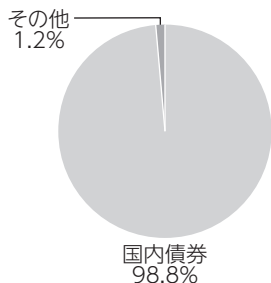
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
1 2 9回 利付国庫債券 (5年)	日本・円	7.7%
3 5 5回 利付国庫債券 (10年)	日本・円	7.1
4 0 0回 利付国庫債券 (2年)	日本・円	6.3
4 0 2回 利付国庫債券 (2年)	日本・円	6.1
1 4 0回 利付国庫債券 (5年)	日本・円	5.6
1 5 0回 利付国庫債券 (20年)	日本・円	4.8
1 3 6回 利付国庫債券 (5年)	日本・円	4.4
3 5 4回 利付国庫債券 (10年)	日本・円	4.1
3 5 6回 利付国庫債券 (10年)	日本・円	2.8
4 2 7回 九州電力社債	日本・円	2.5
組入銘柄数	53銘柄	

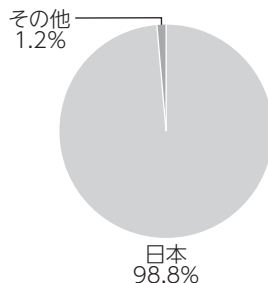
◆1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

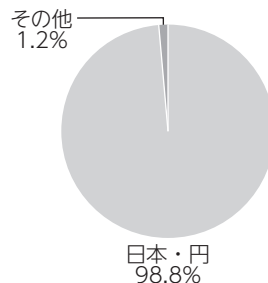
◆資産別配分



◆国別配分



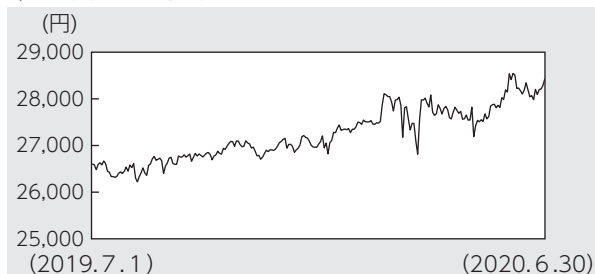
◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。
- (注2) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。
- (注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

[MHAM海外債券マザーファンド] (計算期間 2019年7月2日～2020年6月30日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

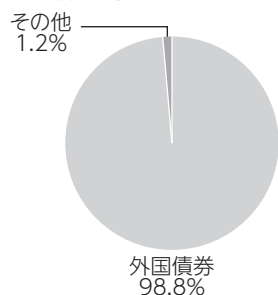
銘柄名	通貨	比率
US T N/B 2.25 11/15/27	アメリカ・ドル	8.7%
US T N/B 2.875 05/15/28	アメリカ・ドル	7.9
US T N/B 2.25 11/15/25	アメリカ・ドル	7.4
SPAIN 1.95 04/30/26	ユーロ	4.9
US T N/B 4.5 02/15/36	アメリカ・ドル	4.4
SPAIN 0.45 10/31/22	ユーロ	4.1
FRANCE OAT 3.25 05/25/45	ユーロ	3.5
AUSTRALIAN 2.5 05/21/30	オーストラリア・ドル	3.3
US T N/B 2.75 11/15/42	アメリカ・ドル	3.3
US T N/B 5.25 11/15/28	アメリカ・ドル	3.1
組入銘柄数		37銘柄

◆1万口当たりの費用明細

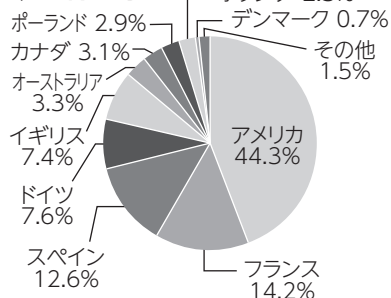
項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用) (その他)	16円 (16) (0)	0.059% (0.059) (0.000)
合計	16	0.059

期中の平均基準価額は27,245円です。

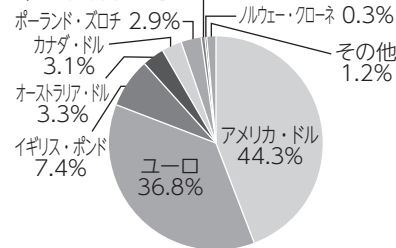
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国(地域)で表示しております。

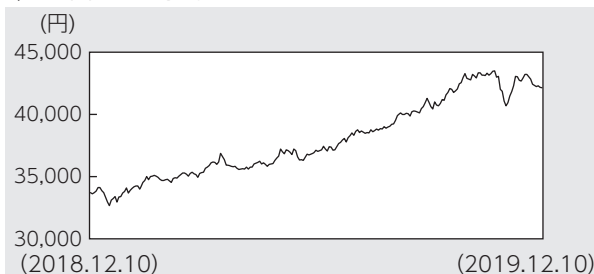
(注6) 国別配分については、上位11位以下をその他に含めて集計しています。

(注7) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

[MHAM J-REITマザーファンド] (計算期間 2018年12月11日～2019年12月10日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

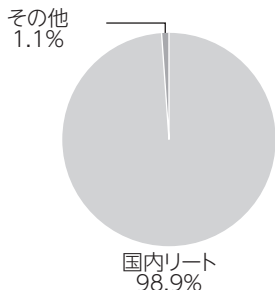
銘柄名	通貨	比率
ジャパンリアルエステイト投資法人	日本・円	7.6%
日本ビルファンド投資法人	日本・円	6.9
オリックス不動産投資法人	日本・円	5.8
日本リテールファンド投資法人	日本・円	4.1
アドバンス・レジデンス投資法人	日本・円	4.0
野村不動産マスターファンド投資法人	日本・円	3.9
日本プロジスリート投資法人	日本・円	3.7
アクティビア・プロパティーズ投資法人	日本・円	3.3
大和証券オフィス投資法人	日本・円	3.2
インヴェンシブル投資法人	日本・円	3.2
組入銘柄数		52銘柄

◆1万口当たりの費用明細

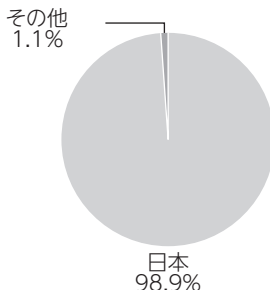
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資証券)	11円 (11)	0.028% (0.028)
合計	11	0.028

期中の平均基準価額は、37,968円です。

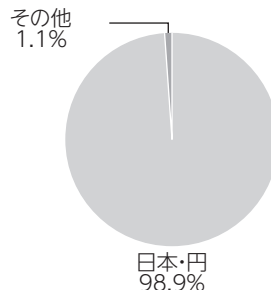
◆資産別配分



◆国別配分



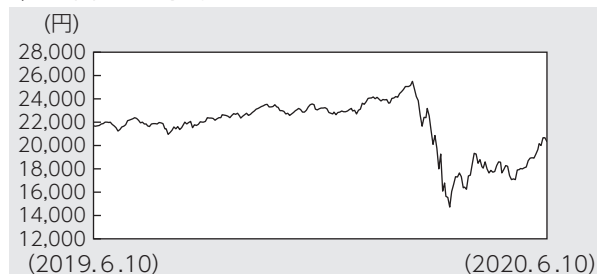
◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。
- (注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
- (注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注5) 国別配分につきましては発行国(地域)で表示しております。
- (注6) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。
- (注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

[MHAMグローバルREITマザーファンド] (計算期間 2019年6月11日～2020年6月10日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

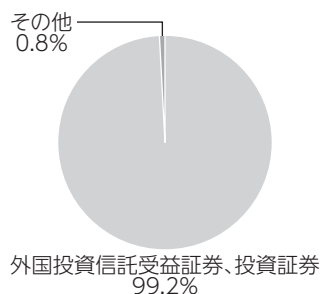
銘柄名	通貨	比率
PROLOGIS INC	アメリカ・ドル	9.1%
EQUINIX INC	アメリカ・ドル	6.6%
WELLTOWER INC	アメリカ・ドル	4.0%
DIGITAL REALTY TRUST INC	アメリカ・ドル	3.5%
ALEXANDRIA REAL ESTATE EQUIT	アメリカ・ドル	3.2%
GOODMAN GROUP	オーストラリア・ドル	2.8%
SUN COMMUNITIES INC	アメリカ・ドル	2.6%
UDR INC	アメリカ・ドル	2.5%
EQUITY LIFESTYLE PROPERTIES	アメリカ・ドル	2.5%
EQUITY RESIDENTIAL	アメリカ・ドル	2.5%
組入銘柄数		62銘柄

◆1万口当たりの費用明細

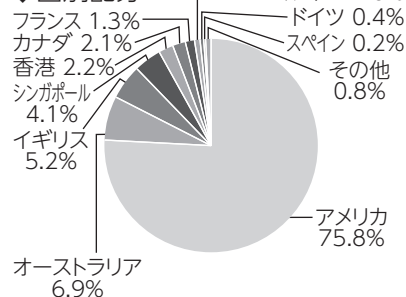
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資信託受益証券) (投資証券)	34円 (4) (30)	0.156% (0.019) (0.137)
(b) 有価証券取引税 (投資信託受益証券) (投資証券)	4 (0) (3)	0.017 (0.001) (0.016)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	95 (94) (1)	0.440 (0.436) (0.004)
合計	132	0.613

期中の平均基準価額は21,568円です。

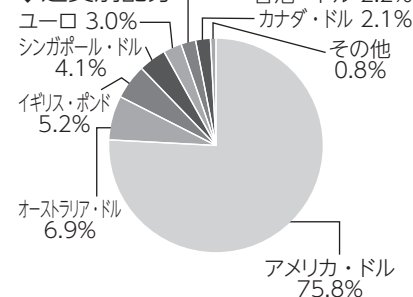
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国(地域)で表示しております。

(注6) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

<組入マザーファンドのベンチマーク等について>

●東証株価指数 (TOPIX)

「東証株価指数 (TOPIX)」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所 (㈩東京証券取引所) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIXの商標に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。

なお、本商品は、(株)東京証券取引所により提供、保証または販売されるものではなく、(株)東京証券取引所は、ファンドの発行または売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

※東証株価指数 (TOPIX) は配当を除いた指数です。

●MSCIコクサイ指数 (為替ノーヘッジ・円ベース)

「MSCIコクサイ指数 (為替ノーヘッジ・円ベース)」は、MSCI Inc. が開発した指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●NOMURA-BPI総合

「NOMURA-BPI総合」は、野村證券株式会社が公表している日本の公募債券流通市場全体の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。NOMURA-BPI総合の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●FTSE世界国債指数 (除く日本、為替ノーヘッジ・円ベース)

「FTSE世界国債指数 (除く日本、為替ノーヘッジ・円ベース)」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

●東証REIT指数 (配当込み)

「東証REIT指数 (配当込み)」は、東京証券取引所の上場REIT銘柄を対象とした時価総額加重型の指数で、配当込み指数は、配当金の権利落ち後の価格を調整した指数です。なお、2017年1月31日より、浮動株比率が考慮された指数となっています。同指数は、株式会社東京証券取引所 (㈩東京証券取引所) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび東証REIT指数の商標に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。

なお、本商品は、(株)東京証券取引所により提供、保証または販売されるものではなく、(株)東京証券取引所は、ファンドの発行または売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

●S&P先進国REIT指数 (除く日本、トータルリターン、円ベース)

「S&P先進国REIT指数 (除く日本、トータルリターン、円ベース)」は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが公表している指数で、日本を除く世界主要先進国に上場するREITおよび同様の制度に基づく銘柄の浮動株修正時価総額に基づいて算出されています。同指数は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCまたはその関連会社の商品であり、これを利用するライセンスが委託会社に付与されています。

S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLC、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズLLCまたはその関連会社は、いかなる指数の資産クラスまたは市場セクターを正確に代表する能力に関して、明示または黙示を問わずいかなる表明または保証もしません。また、同指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。